

18. 予 防 接 種

[1] 定期予防接種（予防接種法）

感染症の発生及びまん延を予防するため、法令で定められた疾病（ポリオ・ジフテリア・百日せき・破傷風・麻しん・風しん・日本脳炎・BCG・Hib・小児の肺炎球菌・ヒトパピローマウイルス・インフルエンザ・高齢者の肺炎球菌）の予防接種を行なっている。対象者に通知し、区内契約医療機関で実施している。

平成24年9月1日から不活化ポリオワクチンの導入に伴い、経口ポリオ生ワクチン（春・秋実施）集団接種は定期予防接種外となった。また、11月1日からはDPT-IPVの四種混合ワクチン、平成25年4月1日からはHib、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチン、平成26年10月1日からは、水痘（みずぼうそう）、高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種化された。平成28年10月1日からはB型肝炎ワクチンが定期接種化された。平成31年2月1日から風しん第5期が追加された。令和2年10月1日からロタウイルスワクチンが追加された。

予防接種法令等の改正（平成22年度以降について記載）

対象疾病（ワクチン）	年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5		
結核	BCG	【26.4.1】個別接種化															
ジフテリア(D) 百日せき(P) 破傷風(T) ポリオ (OPV,IPV)	三種混合(DPT)	【26.12.4通知】ワクチン製造中止															
	四種混合(DPT-IPV)	【28.7.15】国内のワクチン有効期限切れ															
	生(OPV)	【30.1.29】ワクチン再販															
	不活化(IPV)	【24.11.1】四種混合ワクチンの導入															
麻しん 風しん	1期 2期	年2回集団接種(24年8月末終了)															
	3期 4期	【24.9.1】不活化ポリオワクチンの導入															
	風しん5期	3期・4期の追加(平成20～24年度の時限措置)															
日本脳炎 (新ワクチン)	1期	17.5.30～	【22.4.1】再開:新ワクチン接種														
	2期	接種差し控え	【22.8.27】再開:新ワクチン接種														
Hib感染症		【22.4.1】任意接種一部助成				【25.4.1】定期接種化											
小児用肺炎球菌		【23.4.1】任意接種一部助成				【25.4.1】定期接種化											
水痘(水ぼうそう)		【24.4.1】任意接種一部助成				【26.10.1】定期接種化											
おたふくかぜ		【24.4.1】任意接種一部助成				【28.4.1】全額助成											
ロタウイルス		【30.4.1】任意接種一部助成				【R2.10.1】定期接種化											
ヒトパピローマウイルス	子宮頸がん予防	【22.11.26】中学1年生に任意接種全額助成22・23年度のみ中学1～3年生				【25.4.1】定期接種化【25.6.14】接種差し控え				【R4.4.1】積極的勧奨再開 【R5.4.1】9価ワクチン追加							
B型肝炎ウイルス		【27.4.1】任意接種全額助成				【28.10.1】定期接種化											
高齢者肺炎球菌		【21.4.1】任意接種一部助成(75歳以上内部疾患患者)				【23.4.1】75歳以上に任意接種一部助成				【26.10.1】定期接種化							
帯状疱疹		【R5.6.1】50歳以上に任意接種一部助成															

凡例		定期予防接種
		定期予防接種(改正後)
		任意予防接種

□定期予防接種一覧

対象疾病（ワクチン）		予防接種法による対象年齢	通知の対象年齢
結核	BCG	1歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
ジフテリア(D) 百日せき(P) 破傷風(T) 急性灰白髄炎 (ポリオ/P)	不活化ポリオ[1期初回]	生後2か月以上	—
	不活化ポリオ[1期追加]	7歳半に至るまで	
	DPT[1期初回]	生後2か月以上	—
	DPT[1期追加]	7歳半に至るまで	
	DPT-IPV[1期初回]	生後2か月以上	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
	DPT-IPV[1期追加]	7歳半に至るまで	※令和6年度以降は DPT-IPV-Hibとして接種
DT[第2期]	11歳以上13歳未満	11歳の誕生日翌月に通知	
麻しん 風しん	麻しん・風しん混合 MR[1期]	1歳以上2歳に至るまで	生後11か月に達した者 (1歳の誕生日の前月末に通知)
	麻しん・風しん混合 MR[2期]	5歳以上7歳未満で、 小学校就学前の1年間 (就学前年度4/1~3/31)	小学校就学の1年前に通知
	風しん[5期] 令和6年度末までの 時限措置	昭和37年4月2日~昭和54年 4月1日に生まれた男性	令和5年7月に対象者へ通知
日本脳炎	1期初回	生後6か月以上	3歳に達した者 (3歳児健診通知に同封)
	1期追加	7歳半に至るまで	
	2期	9歳以上13歳未満	9歳の誕生日翌月に通知
Hib感染症	1期初回	生後2か月以上 5歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
	1期追加		※令和6年度以降は DPT-IPV-Hibとして接種
肺炎球菌感染症 (小児)	1期初回	生後2か月以上 5歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
	1期追加		
水痘 (みずぼうそう)	—	1歳以上3歳に至るまで	生後11か月に達した者 (1歳の誕生日の前月末に通知)
B型肝炎	—	1歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
ロタウイルス ワクチン	1価	生後24週0日まで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
	5価	生後32週0日まで	
ヒトパピローウイルス 感染症	※平成9~19年度生まれは令和4~6年度まで キャッチアップ対象	12歳となる日の属する年度の 初日から16歳となる日の 属する年度の末日までの間に ある女子	中学1年生の女子 ※積極的勧奨が再開した令和4年 度に、中学1年生から高校1年 生、キャッチアップ対象者へ通知
肺炎球菌感染症 (高齢者)	—	対象年度期間内 ※令和6年度以降は満年齢	当該年度65歳,70歳,75歳,80 歳,85歳,90歳,95歳,100歳に 達した者、60~64歳の特定疾患 のある者 ※令和6年度以降は65歳、 60~64歳の特定疾患のある者
高齢者 インフルエンザ	※接種期間 10月1日から1月31日	65歳以上 (特定疾病者は60歳以上)	12月末現在で65歳に達する者、 60~64歳の特定疾患のある者

(1) BCG、DT、ポリオ（IPV）、DPT-IPV

□実績

(単位：人)

年度	区分	BCG	二種混合 (DT)	不活化ポリオ (IPV)		四種混合 (DPT - IPV)	
			2期	1期 初回	1期 追加	1期 初回	1期 追加
元	対象者(延)	2,044	1,582			6,132	2,044
	実施者(計)	2,024	914	0	5	6,117	1,976
	接種率(%)	99.0	57.8			99.8	96.7
2	対象者(延)	1,976	1,607			5,928	1,976
	実施者(計)	1,869	1,103	0	2	5,573	1,973
	接種率(%)	94.5	68.6			94.0	99.8
3	対象者(延)	2,024	1,629			6,072	2,024
	実施者(計)	1,854	1,111	0	6	5,693	1,771
	接種率(%)	91.6	68.2			93.8	87.5
4	対象者(延)	1,914	1,658			5,742	1,914
	実施者(計)	1,856	1,064	1	5	5,628	1,679
	接種率(%)	97.0	64.2			98.0	87.7
5	対象者(延)	1,810	1,657			5,430	1,810
	実施者(計)	1,753	1,042	0	5	5,860	1,760
	接種率(%)	96.9	62.9			107.9	97.2

(注1) BCGは平成26年度から区内医療機関での個別接種とした。

(注2) 四種混合ワクチン(DPT-IPV)は平成24年11月1日から開始。

(注3) 四種混合ワクチン(DPT-IPV)の接種開始時期は令和5年度より生後3か月から2か月へと変更。

(注4) 三種混合ワクチン(DPT)は定期接種対象だが、実績がないため未掲載。

(2) 日本脳炎、高齢者インフルエンザ

□実績

(単位：人)

年度		区分	日本脳炎					インフルエンザ (高齢者)
			1 期初回 (7 歳 6 か月に至 るまで)	1 期追加 (7 歳 6 か月に至 るまで)	1 期初回 (7 歳 6 か月～20 歳 未満)	1 期追加 (7 歳 6 か 月～20 歳 未満)	2 期 (9 歳～ 13 歳未 満)	
元	対象者(延)	4,174	2,087			1,653		58,253
	実施者(計)	3,784	1,760	140	110	1,136	245	25,702
	接種率(%)	90.7	84.3			68.7		44.1
2	対象者(延)	3,974	1,987			1,663		57,912
	実施者(計)	3,690	1,657	167	157	1,113	271	37,063
	接種率(%)	92.8	83.3			66.9		64.0
3	対象者(延)	2,664	1,332			1,673		58,039
	実施者(計)	3,080	872	117	82	560	146	30,819
	接種率(%)	115.6	65.5			33.5		53.1
4	対象者(延)	3,558	1,779			1,755		57,992
	実施者(計)	3,402	1,857	56	72	1,600	227	36,144
	接種率(%)	95.6	104.4			91.2		62.3
5	対象者(延)	3,466	1,733			1,784		57,637
	実施者(計)	3,149	1,527	48	37	1,474	161	30,691
	接種率(%)	90.9	88.1			82.6		53.2

(注1) 日本脳炎については、平成21年に新ワクチン(乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)が承認され、平成22年4月1日から3歳に対して、第1期の積極的勧奨が再開された。平成22年8月27日からは第2期でも新ワクチンの接種が可能となり、同時に第2期の対象年齢で第1期接種完了していない方について、第1期の接種が可能となった。

平成23年5月20日からは、積極的勧奨の差し控えにより予防接種の機会を逸した者(平成7年6月1日生まれから平成19年4月1日生まれまでの者)のうち7歳6か月以上9歳未満および13歳以上20歳未満の者についても、定期の予防接種の対象となった。

平成25年4月1日からは、平成7年4月2日生まれから平成7年5月31日生まれまでの者が、積極的勧奨の差し控えによる予防接種の機会を逸した者として追加された。

(注2) 平成28年4月1日から、平成19年4月2日生まれから平成21年10月1日生まれの者は、9歳から13歳未満の間に1期の不足分を定期予防接種として接種できるようになった。

(3) 麻しん風しん (MR)

□実績

(単位：人)

年度	区分	麻しん風しん混合 (MR)			(再掲) 未接種者個別勧奨		
		対象者 (延)	実施者 (計)	接種率 (%)	勧奨者 (A)	勧奨後 接種者 (B)	接種率 (%)
元	1 期	2,087	1,994	95.5			
	2 期	1,798	1,624	90.3	524	266	50.8
	風しん		0				
2	1 期	1,922	1,893	98.4			
	2 期	1,849	1,685	91.1	469	237	50.5
	風しん		0				
3	1 期	1,842	1,714	93.1			
	2 期	1,780	1,664	93.5	487	267	54.8
	風しん		0				
4	1 期	1,872	1,790	95.6			
	2 期	1,816	1,592	87.7	583	286	49.0
	風しん		0				
5	1 期	1,793	1,718	95.8			
	2 期	1,821	1,627	89.3	609	283	46.4
	風しん		0				

(注) 麻しん・風しん混合ワクチン2期末接種者(12月までの未接種者及び23区相互乗り入れによる接種者含む)に対する個別勧奨を2月に実施している。

(4) Hib

□実績

(単位：人)

年度	区分	接種時期	対象者数	実施者数 (計)	接種率 (%)
元		第1回目	2,044	1,988	97.3
		第2回目	2,044	2,004	98.0
		第3回目	2,044	1,963	96.0
		追加	2,044	1,857	90.9
2		第1回目	1,976	1,779	90.0
		第2回目	1,976	1,843	93.2
		第3回目	1,976	1,952	98.7
		追加	1,976	2,056	104.0
3		第1回目	2,024	1,957	96.7
		第2回目	2,024	1,912	94.5
		第3回目	2,024	1,874	92.6
		追加	2,024	1,734	85.7
4		第1回目	1,914	1,891	98.8
		第2回目	1,914	1,899	99.2
		第3回目	1,914	1,872	97.8
		追加	1,914	1,829	95.6
5		第1回目	1,810	1,792	99.0
		第2回目	1,810	1,788	98.8
		第3回目	1,810	1,796	99.2
		追加	1,810	1,728	95.5

(注) 平成22年4月から平成25年3月まで、インフルエンザ菌b型による感染症(髄膜炎、敗血症、蜂巣炎、関節炎、咽頭蓋炎、肺炎及び骨髄炎など)の予防を目的として、一部助成を行っていた。平成25年4月から、定期予防接種となった。

(5) 肺炎球菌（小児）

□実績

(単位：人)

年度	区分	接種時期	対象者数	実施者数（計）	接種率（％）
元		第1回目	2,044	2,003	98.0
		第2回目	2,044	2,034	99.5
		第3回目	2,044	2,037	99.7
		追加	2,044	1,958	95.8
2		第1回目	1,976	1,777	89.9
		第2回目	1,976	1,832	92.7
		第3回目	1,976	1,895	95.9
		追加	1,976	1,985	100.4
3		第1回目	2,024	1,962	96.9
		第2回目	2,024	1,918	94.8
		第3回目	2,024	1,874	92.6
		追加	2,024	1,739	85.9
4		第1回目	1,914	1,886	98.5
		第2回目	1,914	1,907	99.6
		第3回目	1,914	1,879	98.2
		追加	1,914	1,814	94.8
5		第1回目	1,810	1,788	98.8
		第2回目	1,810	1,790	98.9
		第3回目	1,810	1,796	99.2
		追加	1,810	1,708	94.4

(注) 平成23年4月から肺炎球菌による肺炎及び重症合併症（細菌性髄膜炎など）を予防する目的で一部助成を行っていた。平成25年4月から定期予防接種となった。

(6) 子宮頸がん予防

□実績

(単位：人)

区分 年	対象者数	接種件数（延数）				対象者数	キャッチアップ接種件数			
		1回目	2回目	3回目	合計		1回目	2回目	3回目	合計
元		49	42	28	119					
2		238	189	131	558					
3		415	382	284	1,081					
4	2,708	431 (15.9%)	407 (15.0%)	336 (12.4%)	1,174	13,164	714	559	289	1,562
5	797	664 (83.3%)	434 (54.5%)	261 (32.7%)	1,359		1,284	1,081	969	3,334

(注1) 平成22年11月から平成25年3月まで、接種推奨年齢にあたる中学1年生（平成22年度に限り中学1・2・3年生）の女子に対して、接種費用を区で負担していた。平成25年4月から定期予防接種となった。

(注2) 平成25年6月14日の子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨の一時差し控えについての勧告以降、個別の接種勧奨は行っていない。

(注3) 令和2年10月9日の子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨の一時差し控えについての勧告の改正に伴い、子宮頸がんの定期接種に関する情報提供として、高校1年生相当の女子へ周知はがきを送付。

令和3年7月に、中学校3年生及び高校1年生相当の女子へ周知はがきを送付。

(注4) 令和4年4月に子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種再開に伴い、中学1年生から高校1年生相当の女子に予診票を送付。

(注5) 令和4年7月末に子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨の一時差し控えをしている間に定期接種の対象者であった平成9年度から平成17年度生まれまでの女性について、キャッチアップ接種の対象者として予診票を送付。（キャッチアップ対象は、令和5年度は平成18年度生まれ、令和6年度は平成19年度生まれまでを指す。）

(注6) 令和5年4月から9価ワクチンが追加。

(7) 水痘（みずぼうそう）

□実績

(単位：人)

年度	区分	対象者数	接種時期		接種率 (%)
			1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	
元	1回目	2,087	1,859	19	90.0
	2回目	2,087	1,628	213	88.2
2	1回目	1,922	1,882	18	98.8
	2回目	1,922	1,675	226	98.9
3	1回目	1,842	1,722	5	93.8
	2回目	1,842	1,524	171	92.0
4	1回目	1,872	1,778	9	95.5
	2回目	1,872	1,409	156	83.6
5	1回目	1,793	1,718	16	96.7
	2回目	1,793	1,445	217	92.7

(注1)平成24年4月から平成26年9月30日まで水痘-帯状疱疹ウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行なっていた。対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

(注2)平成25年度から、新宿区と任意接種の相互乗り入れを実施（新宿区医師会と契約）。

(注3)平成26年度は9月30日までは任意予防接種。平成26年10月1日から定期予防接種（期間：1歳以上3歳未満、2回接種）となった。

(注4)平成26年度は経過措置として、1歳以上3歳に至るまでの児は2回接種、3歳以上5歳に至るまでの児は1回接種。

(8) ロタウイルス

平成30年4月からロタウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、任意接種として対象者に対し一部助成を行なっていたが、令和2年10月1日から定期化している。

対象者は、区内に在住し、平成30年4月1日以降に生まれ、1価の場合生後6週から24週0日、5価の場合生後6週から32週0日までの乳児。助成は1価の場合2回、5価の場合3回。

□実績

年度	区分	ワクチン名	対象者	1回目	2回目	3回目	接種率 (%)
2		ロタリックス（1価）	1,139	310	267		63.4
		ロタテック（5価）		525	440	345	
3		ロタリックス（1価）	2,024	729	711		92.8
		ロタテック（5価）		1,191	1,160	1,122	
4		ロタリックス（1価）	1,914	797	802		96.8
		ロタテック（5価）		1,057	1,054	1,050	
5		ロタリックス（1価）	1,810	711	714		96.9
		ロタテック（5価）		1,049	1,041	1,032	

(9) 肺炎球菌（高齢者）

平成 21 年度から肺炎が要因で死亡するリスクの高い 75 歳以上の高齢者のうち、肺炎球菌に感染した時に重症化しやすい、慢性の疾患や特定の疾病を有する高齢者に対して、1 人につき 1 回の肺炎球菌ワクチン接種に対する助成を行なっている。これは肺炎のり患及び重症化の予防及び肺炎球菌ワクチン接種の費用を助成することにより任意の予防接種を勧めることを目的とする。

平成 23 年度から、対象者を区内在住の 75 歳以上全員に拡大するとともに 5 年に 1 回の助成とした。ただし前回の接種日から 5 年を経過していない場合は対象としない。

平成 26 年 10 月 1 日から定期予防接種となり、生涯に 1 回の接種を対象としている。定期接種対象者は①65 歳の者②60 歳以上 65 歳未満のものであって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する者である。なお、令和 5 年度までは経過措置として、その年度に 65 歳、70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳になる者が対象となっている。

□実績

(単位：人)

年度	区分	対象者数	実施件数			接種率 (%)	
			総数	一部助成	全額助成 (注 3)		
元		元年度 65 歳, 70 歳, 75 歳, 80 歳, 85 歳, 90 歳, 95 歳, 100 歳に達した者	7,551	1,587	1,501	86	21.0
2		2 年度 65 歳, 70 歳, 75 歳, 80 歳, 85 歳, 90 歳, 95 歳, 100 歳に達した者	8,872	1,924	1,859	65	21.6
3		3 年度 65 歳, 70 歳, 75 歳, 80 歳, 85 歳, 90 歳, 95 歳, 100 歳に達した者	8,826	2,828	0	2,828	32.0
4		4 年度 65 歳, 70 歳, 75 歳, 80 歳, 85 歳, 90 歳, 95 歳, 100 歳に達した者	9,889	2,581	0	2,581	26.1
5		5 年度 65 歳, 70 歳, 75 歳, 80 歳, 85 歳, 90 歳, 95 歳, 100 歳に達した者	9,589	2,881	0	2,881	30.0

(注1) 平成 26 年度は 9 月 30 日まで任意予防接種、平成 26 年 10 月 1 日から定期予防接種となった。

(注2) 対象者の中には上記②に該当する 60 歳以上 65 歳未満の者を含む。

(注3) 生活保護受給者と、中国残留邦人の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による支給給付金を受給している方は全額助成。ただし、令和 3 年度から令和 5 年度は、東京都の補助事業実施につき全対象者に全額助成。

(10) B型肝炎

平成 27 年 4 月 1 日から B 型肝炎ウイルスによる感染症を予防するワクチン接種の助成を行なっている。接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。

対象者は、区内に在住する 2 か月から 1 歳に至るまでの乳児で、助成回数は 1 人につき最大 3 回。なお、平成 27 年度に限り、経過措置として 2 歳に至るまでが対象。

平成 28 年 10 月 1 日より定期接種化された。定期接種の対象者は平成 28 年 4 月 1 日以降に生まれた、生後 1 歳に至るまでの児。平成 28 年 3 月 31 日以前に生まれた児に対しては、引き続き 1 歳に至るまで任意接種の助成を行なった。

□実績

(単位：人)

年度	区分	対象者（延）	接種回数			接種率（%）
			1回目	2回目	3回目	
定期	元	6,132	1,951	1,958	1,904	94.8
	2	5,928	1,756	1,810	1,858	91.4
	3	6,072	1,942	1,906	1,740	92.0
	4	5,742	1,866	1,877	1,768	96.0
	5	5,430	1,774	1,778	1,713	97.0

(注) 平成28年度の任意接種対象者には、平成28年9月30日までは平成28年4月1日以降に生まれた2か月から1歳に至るまでの児を含む。平成28年10月1日以降は、平成28年3月31日以前に生まれた1歳に至るまでの児のみ。

(11) 定期予防接種費用助成事業

平成28年度から、実施依頼書に基づいて23区外の依頼先にて定期予防接種を受け、依頼先自治体の費用助成がなく実費を負担した場合の費用助成を始めた。

□実績

(単位：人)

年度	区分	助成人数（延）	内 訳	
			子ども	高齢者
元		93	77	16
2		225	160	65
3		180	141	39
4		159	117	42
5		128	93	35

(12) 風しん[第5期]

平成31年2月1日から令和4年3月31日までの間に限り、風しんに係る公的接種を受ける機会のなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性が定期の予防接種の対象者として追加されることとなった。さらに、令和4年3月までの目標達成が困難なため、期限を令和7年3月末までに延長している。対象者には抗体検査と予防接種に利用できるクーポン券を送付。まずは抗体検査を受診。検査の結果、十分な抗体がない者が定期予防接種の対象。クーポンの利用により、抗体検査予防接種とも原則無料で受けることができる。

□実績

(単位：人)

年度	区分	発送件数（一斉）	風しん第5期	実施者数	受診率・接種率（%）
元		18,052	抗体検査	1,836	10.2
			予防接種	406	2.2
2		36,350	抗体検査	2,168	5.9
			予防接種	404	1.1
3		0	抗体検査	854	2.5
			予防接種	205	0.5
4		0	抗体検査	593	1.8
			予防接種	146	0.4
5		31,642	抗体検査	1,173	3.7
			予防接種	191	0.6

(注1) 令和元年度の発送対象は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれと希望者。

(注2) 令和2年度の発送対象は、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれと希望者。

(注3) 令和4年7月に、風しん抗体検査及び風しん第5期予防接種実施期間延長に関するお知らせを未実施の対象者へ周知はがきとして送付。

(注4) 令和5年7月に対象者へクーポン券を発送。

[2] 任意予防接種の助成

(1) 麻しん・風しん予防接種の経過措置

平成 18 年度から麻しん・風しん予防接種は、混合ワクチン第 1 期・第 2 期の 2 回接種となった。これに伴い、定期を過ぎた 2 歳から第 2 期対象以前の未接種者と小学校 1 年生の未接種者に対し、豊島区独自の経過措置（任意接種の全額助成）を設けた。

また、平成 20 年度から、第 3 期（中学 1 年生相当）第 4 期（高校 3 年生相当）の定期予防接種が追加されたことに伴い、平成 21 年度から中学 2 年生の第 3 期末接種者も加え、対象を拡大した。

さらに、平成 23 年 7 月 11 日から、麻しんの感染及び拡大防止を強化するため、定期接種対象者を除く 2 歳から 18 歳未満までの定期予防接種未接種者について 2 回までの助成を行なった。

平成 25 年 3 月末をもって第 3 期・第 4 期が終了したことに伴い、平成 25 年 4 月 1 日からは、対象を 2 歳から 18 歳までに拡大した。

□接種回数

年 齢	所要接種回数
2 歳から就学 1 年前に達する日にいたるまでの間	1 回
小学校 1 学年に相当する年齢から 18 歳までの間	2 回

□実績

(単位：人)

区分 年度	2 歳～ 第 2 期対象以前			小学校 1 年生 ～18 歳まで		
	麻しん・風しん	麻しん	風しん	麻しん・風しん	麻しん	風しん
元	17	0	0	66	0	0
2	17	0	0	49	0	0
3	9	0	0	44	0	0
4	6	0	0	35	0	0
5	9	0	0	37	0	0

(2) 带状疱疹

令和 5 年 6 月より、带状疱疹の発症予防と重症化リスクを抑え区民の負担を軽減するため、带状疱疹ワクチン任意予防接種費用の一部助成を行っている。対象者は 50 歳以上の豊島区民。

一部助成は 1 人につき生ワクチンの場合 1 回、不活化ワクチンの場合 2 回。

□実績

(単位：人)

区分 年度	ワクチン名	1 回目	2 回目
5	乾燥弱毒生水痘ワクチン（生ワクチン）	428	
	乾燥組換え带状疱疹ワクチン（不活化ワクチン）	4, 243	3, 457

(3) おたふくかぜ

平成24年4月からムンプスウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行なっている。おたふくかぜワクチン接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。当初の対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

平成25年度から、新宿区と相互乗り入れを実施（新宿区医師会と契約）。

平成28年度より全額助成となり、対象者が1歳から3歳に至るまでに変更された。ただし、平成28年度に限り経過措置として、7歳未満で小学校就学前の3月末日までの者も対象とした。

□実績

(単位：人)

区分 年度	接 種 時 期			接種率 (%)
	対象者数	1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	
元	2,087	1,968	90	98.6
2	1,922	1,906	72	102.9
3	1,842	1,654	56	92.8
4	1,872	1,821	72	101.1
5	1,793	1,693	58	97.7

(4) 先天性風しん症候群対策

平成24年からの風しんの流行により、平成25年4月から先天性風しん症候群の発生防止を目的とした風しんの予防接種を全額助成で実施している。平成26年度から風しんの抗体検査を実施するとともに、抗体価の低い方に予防接種を実施している。

対象者は、本区に住民登録があり、妊娠を希望する女性・妊娠を希望する女性のパートナー又は同居者で風しんの抗体価が低い方、風しんの抗体価が低い妊婦のパートナー又は同居者。

□実績

(単位：人)

区分 年度	対象者	麻しん・風しん混合		合 計
		麻しん	風しん	
元	男	283	9	292
	女	524	104	628
	合計	807	113	920
2	男	212	10	222
	女	389	34	423
	合計	601	44	645
3	男	171	19	190
	女	344	21	365
	合計	515	40	555
4	男	194	10	204
	女	339	21	360
	合計	533	31	564
5	男	224	21	245
	女	372	34	406
	合計	596	55	651

(注)風しん抗体検査実績は、16. 感染症対策 [7]先天性風しん症候群予防対策事業を参照。